

【資料4】

仁淀川地域アクションプランの追加・修正等について

有望素材シート（26年度）（案）

様式4

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	いの町	素材名	生姜、ゆず皮
		関連素材	

現状・課題	<p><現状> 高知県の生姜栽培は、作付面積（463ha）、生産量（2万4千トン）ともに、日本一を誇る。中でもいの町は高知県の生姜栽培の発祥の地であり、現在約50戸の農家が合計で1,000トン（県内7位）の生姜を栽培している。 西村青果株式会社はいの町で昭和26年創業以来63年間生姜卸業を行っている。生鮮部、香辛料加工部、栽培部からなり、香辛料加工部は昭和60年からおろし生姜やゆず皮の加工品、ねりわさびなどの香辛料加工品の製造や全国販売を行うなど、いち早く農業の6次産業化に取り組んできた経緯がある。 近年、中国産冷凍野菜から基準値を超える残留農薬が検出されたことを発端に、国産生姜の需要が急増した。</p>
	<p><課題> 現状の体制（保冷施設の容量不足）では、貯蔵に限界があり、国産生姜の需要拡大に対応できない状況である。</p>
今後の方向性	<p>保冷施設の整備により、生姜の加工品の生産性向上及び販売拡大を図る。 生姜の取扱量が増加するため、保冷の下処理作業等を行う常勤職員を4～5名程度、新規に雇用する予定。 また、いの町内等の生産者の所得向上につなげるため、大手食品会社等との安定的な取引を目指す。</p>

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	生姜等加工品製造施設整備事業
	関係市町村名	いの町

事業の概要	<p>仁淀川流域の基幹品目である、生姜の増産及び加工品の生産性の向上を図り、顧客からの受注に対応できる安定的な生産体制を確立することにより、いの町内等の生姜生産者の所得の向上及び、地域の雇用拡大に繋げる。 主要取扱品目の生姜について、大手食品会社の餃子の中具や大手コンビニチェーン店のおろし生姜などの受注が予定されているほか、ゆず皮の加工品についても大手天然調味料製造会社からの受注が予定されていることから、これらに対応するため、以下の事業を行う。</p> <p><保冷施設の整備> ・建屋 ・冷蔵庫 ・冷凍庫 ・塩蔵生姜タンク</p>
-------	--

事業主体等	<p>【事業主体】 西村青果（株）</p> <p>【関係機関】 生姜生産農家、高知県園芸連、JAとさし、JAコスモス、JA高知市</p>
-------	--

主な内容・スケジュール	取組手順	事業実施【H26】	1年後【H27】	2年後【H28】	3年後【H29】	4年後【H30以降】
	保冷施設の整備	11月末 農地転用・開発許可 H27.2～3月 着工予定	8月末までに 完成予定			
生産力の強化		整備した施設を活用し、生産性の向上を図る				→
生産農家等との連携		いの町内外の生姜生産農家及び高知県園芸連等との連携を強化して仕入量を増加させる。				→

指標・目標	項目	事業実施【H26】	1年後【H27】	2年後【H28】	3年後【H29】	4年後【H30以降】
	売上高（加工部門）の増	210,662千円	276,000千円	279,000千円	282,000千円	285,000千円
雇用数の増		5名増				
【設定根拠】	【推計の考え方】 この事業は、全国展開する大手食品会社等からの受注に対応するものであり、売上高の増と増産による雇用の増が期待できる。					

仕分	
----	--

総事業費等	<p>総事業費 70,000千円（うち26年度70,000千円） （内訳 国： 県：35,000千円 市町村： その他：35,000千円）</p> <p>想定する支援事業（補助金名称、人的支援の内容、その他） 国： 県：産業振興推進総合支援事業 人的支援： その他：</p>

備考	
----	--

追加項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>生姜等加工品製造施設整備事業 《いの町》</p>	<p>仁淀川地域の基幹品目である、生姜の増産及び加工品の生産性の向上を図り、顧客からの受注に対応できる安定的な生産体制を確立することにより、いの町内等の生姜生産者の所得の向上及び、地域の雇用拡大に繋げる。</p>	<p>・西村青果株式会社</p>		<p>・生姜等の加工品の生産力の強化</p>	<p>◆生産体制の整備・販売強化</p> <p>◆原材料の確保</p>

第2期計画				H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27		指標	目標値(H27)
		<p>生産体制の整備・販売強化</p> <p>保冷施設の整備</p> <p>生姜等加工品の製造・販売</p>			生姜等加工品の販売額(H25:210百万円)	276百万円(H27.9)
		<p>原材料の確保</p> <p>生産農家等との取引量の安定化を目指す取組</p>				

修正項目(案)


【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
18 いの町商店街(仁淀川七色商店街)の活性化 (いの町)	空き店舗・旧町屋・倉庫等について、地域産品の販売やコミュニティーの場、新規起業希望者へのチャレンジショップ等への有効活用を目指し、いの町商店街の再生へ向けた取組を行う。人を商店街へ呼び込むための取組として、仁淀川七色ロード市の定着化・拡大を図るとともに、商店街の核となるまちの駅の設置に向けた検討を図る。	・いの町 ・いの町商工会	・イベント『よどがわ七色ロード』の実施(H24~25) ◆H24に計5回イベントを実施し、店主への意識づけと、地域内外に対する商店街のPRを行ったことにより、若い店主を中心として、商店街を盛り上げていこうという意識が育ち、実行組織ができた。 ◆イベントだけでは顧客、売り上げの増加には結び付きにくい。イベントも含め、商店街を面として磨きあげ、発信するための計画づくりを多くの関係者を巻き込んで策定する必要があると考え、25年度に国の全国展開支援事業の補助金を導入し、計画策定に取り組んでいる。	・商工会の会員をはじめ多くの事業者、住民が主体的に関わり、実現可能で効果的な事業計画を策定する必要がある。	◆いの町商店街の再生に向けた取組
修正前					



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
18 いの町商店街(仁淀川七色商店街)の活性化 (いの町)	空き店舗・旧町屋・倉庫等について、地域産品の販売やコミュニティーの場、新規起業希望者へのチャレンジショップ等への有効活用を目指し、いの町商店街の再生へ向けた取組を行う。 「紙の町をお金にする」「まちなかを元気にする」を目標として、新商品の開発及び各店舗の元気づくりに取り組む。	・いの町 ・いの町商工会	・イベント『よどがわ七色ロード』の実施(H24~25) ◆H24に計5回イベントを実施し、店主への意識づけと、地域内外に対する商店街のPRを行ったことにより、若い店主を中心として、商店街を盛り上げていこうという意識が育ち、実行組織ができた。 ◆イベントだけでは顧客、売り上げの増加には結び付きにくい。イベントも含め、商店街を面として磨きあげ、発信するための計画づくりを多くの関係者を巻き込んで策定する必要があると考え、25年度に国の全国展開支援事業の補助金を導入し、計画策定に取り組んだ。 ◆商工会の会員が主体的に関わり実現することができる事業計画を策定した。また、実現に向けてのきめ細かい支援を商工会が行うしくみが定着しつつある。	・いの町内の事業者が開発した食、紙、観光の新商品を紙のまちから生み出したものとして一体的に売り出すための工夫が必要。	◆いの町商店街の再生に向けた取組
修正後					

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
					いの町商店街の空き店舗率の改善 (H23:25.3%) ※25/99店舗	20%未満
いの町商店街の再生に向けた取組 商店街の空き店舗について、家主と貸店舗等への利用についての協議を図り、協力店舗を確保するとともに、商店街近辺での町屋・倉庫等についても店舗として利用可能なものについての調査実施	いの町商店街再生プランの作成	空き店舗・旧町屋・倉庫等を活用した低家賃のチャレンジショップ等の検討・募集 新規起業希望者への起業研修の開催	空き店舗・旧町屋・倉庫等を活用したチャレンジショップ等の開設・実施			
いの町商店街に淀川七色ロードモニターイベントの継続実施(3ヶ月毎)	仁淀川七色ロード商店街の本格実施。(定着化に向け参加・協力店舗数の増加、実施回数を3ヶ月毎から1ヶ月毎等へ徐々に増加させ、最終的には毎週開催が目標。)定着化による交流人口の拡大・商店街の売上げ増を目指す。					
まちの駅の研究部会を設置 まちの駅の適地及び可能性を検討		まちの駅の整備計画作成	まちの駅の建設			



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
					いの町商店街の空き店舗率の改善 (H23:25.3%) ※25/99店舗	20%未満
いの町商店街の再生に向けた取組 商店街の空き店舗について、家主と貸店舗等への利用についての協議を図り、協力店舗を確保するとともに、商店街近辺での町屋・倉庫等についても店舗として利用可能なものについての調査実施	いの町商店街再生プランの作成	紙の町の商品開発 (紙、食の商品開発) 紙の町の店づくり 紙の町のおもてなし (観光商品開発)	空き店舗・旧町屋・倉庫等を活用した体験施設、チャレンジショップ等の開設・実施			
いの町商店街に淀川七色ロードモニターイベントの継続実施(3ヶ月毎)	商店街での起業家及び個店経営者の経営支援					
まちの駅の研究部会を設置 まちの駅の適地及び可能性を検討				暮らしのかけ橋交流館「なないろ」の開設・運営		

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
28 集客施設の整備による新居地区の活性化 《土佐市》	土佐市の新たな地域振興の拠点、地域情報発信基地として「観光交流センター」(仮称)を整備し、交流人口の拡大と地域の活性化を目指す。	・(仮称)「企業組合 土佐の夜明け」を予定	・体験型観光及び食観光の推進(H21~23) ◆地域資源を活用した観光商品づくりに取り組む中で、具体的な動きが出始めた。 ・新居地区への新たな集客施設の整備の検討(H24~25) ◆防災機能を備えた複合施設として整備する検討が進んだ。	・施設整備の内容や運営方法、体制等の検討	◆規格外の農産物等を使ったレストランの設置 ◆仁淀川及び新居海岸等を活用した観光メニューの案内及び情報発信
修正前					



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
28 交流施設の整備による新居地区の活性化 《土佐市》	土佐市の新たな地域振興の拠点、地域情報発信基地として「観光交流センター」(仮称)を整備し、交流人口の拡大と地域の活性化を目指す。	・(仮称)「特定非営利活動法人 新居を元気にする会」を予定	・体験型観光及び食観光の推進(H21~23) ◆地域資源を活用した観光商品づくりに取り組む中で、具体的な動きが出始めた。 ・新居地区への新たな交流施設の整備の検討(H24~25) ◆防災機能を備えた複合施設として整備する検討が進んだ。	・施設整備の内容や運営方法、体制等の検討	◆規格外の農産物等の販売 ◆仁淀川及び新居海岸等を活用した観光メニューの案内及び情報発信
修正後					

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
規格外の農産物等を使ったレストランの設置						
「観光交流センター」(仮称)整備及び運営方法の検討			「観光交流センター」(仮称)オープン	「観光交流センター」の安定した運営		
仁淀川及び新居海岸等を活用した観光メニューの案内及び情報発信						
観光案内機能についての検討			「観光交流センター」(仮称)内での観光案内及び情報発信など			



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
規格外の農産物等の販売						
「観光交流センター」(仮称)整備及び運営方法の検討			「観光交流センター」(仮称)オープン	「観光交流センター」の安定した運営		
仁淀川及び新居海岸等を活用した観光メニューの案内及び情報発信						
観光案内機能についての検討			「観光交流センター」(仮称)内での観光案内及び情報発信など			